

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		谷口祐治	所 属		総合情報処理センター	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	情報工学科専門科目、共通教育課目を担当し、セキュリティ対策を含め、ICTを活用した実践的な講義を行う。情報工学科の修士および学部卒研生の研究を指導する。総合情報処理センター技術相談員の技術指導及び研修会を隔月開催する。ICT活用ガイダンスを要望に応じて開催する。「インターネット社会の安全対策」というテーマで、教員免許状更新講習、高校向け出前講義を行う。			0.30	情報工学科専門科目、共通教育科目(情報科学演習、情報セキュリティ概論)を担当し、ICTを活用した実践的な講義を行った。情報工学科・大学院の研究指導を行った。総情センター技術相談員の研修会を行った。総合環境学副専攻の担当教員として副専攻学生への教育を行った。		
研究	0.10	外部資金(奨学寄付金)を獲得し、新沖縄インターネットエクスチェンジ(OIX)として、大学教育・研究コンテンツキャッシュの研究に取り組み、県内高等教育機関と連携しインターネット技術の発展に寄与する。教育システム情報学会の渉外活性化委員としての活動を行い、学生研究発表会を開催する。			0.10	外部資金(奨学寄付金)を獲得し、新沖縄インターネットエクスチェンジ(OIX)に研究協力した。教育システム情報学会の渉外活性化委員としての活動を行い、学生研究発表会(沖縄会場)を主催した。		
社会 貢献	0.20	沖縄インターネット協議会(OIA)研修会を開催し、県内ネットワーク技術者の技術交流に努める。大学教育・研究コンテンツキャッシュの研究により、産学間ネットワークを運用支援する。南島スクールネット研究会との連携のもと、学校インターネットの運用技術指導を行う。その他県内インターネット環境の技術相談等に対応する。琉大コミュニティキャンパス事業のサテライト(那覇市、石垣、宮古島、久米島)教育システムを運用を行う。			0.20	新沖縄インターネットエクスチェンジ(OIX)を推進し、大学教育・研究コンテンツキャッシュの有効活用を考慮した産学間ネットワークを支援した。沖縄県商工労働部情報産業振興課からの依頼により海底ケーブル敷設審査委員として審査を行い、審査後も技術相談を行っている。		
管理 運営	0.40	新任職員・教員に対しての情報セキュリティガイダンスを講演する。琉大コミュニティキャンパス事業本部員、IR検討プロジェクト員、総合環境学副専攻教員、エコロジカルキャンパス推進委員、教務システム電算化委員会委員、IT戦略室員等の活動を行う。事務・教務情報システム、本学公式Webページ等の運用を支援し、本学の業務ICT化を推進する。H27年度後期導入のキャンパス情報システムの仕様書(案)を策定する。			0.40	新任職員・教員に対しての情報セキュリティガイダンスを開講した。エコロジカルキャンパス推進委員として学内エコ審査を行った。IR推進委員として大学統合情報データベースの構築に関する技術指導を行った。RCC事業本部委員として本学と石垣・宮古・那覇サテライトのビデオ・カンファレンスの技術指導を行った。キャンパス情報システム仕様策定委員会委員長として仕様を策定し、技術審査を行った。		
進路 指導	0.00				0.00			
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	舟木慶一		所 属	総合情報処理センター	
職 名	講師				
領域	業務ウエイト比(予定)	平成26年度 年度目標設定	業務ウエイト比(実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.25	<p>共通教育科目「情報科学演習」にて、昨年同様のExcel中心の講義を行うとともに、情報処理試験ITパスポート試験の紹介を行う。専門科目「ヒューマンインターフェース」で、昨年同様の講義を行うとともに、企業の著名な研究者をお招きし、歌声合成、音声合成の放送への応用などの音声情報処理の講演会を開催する。専門科目「情報処理技術」で、情報処理技術者試験基本情報午後問題対策の講義を行う。合格者が1名でも増えるように努力する。また、実験Ⅲで、歌声の合成ならびに歌声に同期させた唇や声道の動きを実現するシステムの構築を行う。大学院の情報通信論でG.718などの標準化英語ドラフトを輪読し、プログラム読みを行う。昨年から開講している共通教育「情報処理概論」では、基本情報技術者試験午前問題程度の基本的な知識の講義を行う。</p>	0.25	<p>講義は予定通り行った。 前期のヒューマンインターフェースではNHK技研の世木様による音声合成の講演、ヤマハの剣持様による歌声合成の講演会を開催した。 前期の実験Ⅲでは音声と同期させた唇と声道の動きを実現し、オープンキャンパスでデモを行った。 大学院の講義では、国際会議の予稿を輪読した。 2名の学生のために3月に15コマの集中講義を行う予定。</p>	
研究	0.40	<p>下記のことを行う。 (1)音声のF0推定の高精度化 (2)指紋認識の発展 (3)ロバスト音声認識 (4)HMM音声合成 (5)音声区間検出(VAD) (6)(1)から(5)の成果を、論文誌、国際会議(ICASSP2015,EUSIPCO2015など)、国内会議(音響学会、SIPシンポジウムなど)にて発表する。 (7)時系列解析の応用として経済波、ネットワークデータなどの解析の検討をはじめめる。 (8)科学研究費:(1)-(5)で基盤(C)に申請する。 (9)電子情報通信学会SIS研究会研専委員として活動する。 (10)電子情報通信学会スマート通信・マルチメディアシステム(SM)小特集号の編集委員を務める。 (11)電子情報通信学会常任査読委員として論文の査読を行う。</p>	0.35	<p>(1)は12月にカンボジアで開催された国際会議APSIPA2014で発表。3月の東京での音響学会にて発表。 (2)は群遅延スペクトルの検討を行った。指紋認証に活用できる見込み。 (3)は9月に札幌で開催された音響学会、11月に京都で開催されたSIPシンポジウムにて発表。 (4)広帯域分析の検討を始める。 (5)文献調査を行う。 (6)(1)と(3)をIEICE英文論文誌特集論文号に投稿した。 (7)文献調査を開始。 (8)科研費基盤研究(C)を申請。 (9),(10)特集論文号の編集委員を務める。 (11)査読を行う。 (12)国際会議IEEE ISCASならびにAPC-CASの査読委員を務める。</p>	
社会貢献	0.10	<p>下記の活動を行う。 (1)夏休みに教員免許更新講習(声の不思議、他)を行う。 (2)オープンキャンパスで音声生成と歌声合成システムのデモを行う。 (3)昨年同様、要望があれば、出前授業を行う。</p>	0.10	<p>(1)教員免許更新講習(LMSについて、Excelのデータベース機能)を行う。 (2)オープンキャンパスで音声生成と唇、声道の動きのデモを行う。 (3)出前講義の依頼はなかった。</p>	
管理運営	0.20	<p>(1)講義支援システムWebClassの全学普及に努める。 ①自らWebClassの講習会を行う。 ②作成したWebClassのマニュアルをさらにブラッシュアップする。 (2)情報倫理の留学生向け説明会を行う。 (3)システムの安定運用に向け、業者対応を行う。 (4)図書館のリテラシーガイドブックをブラッシュアップする。 (5)図書館のリテラシーガイドブック用に作成した動画利用マニュアルをさらにブラッシュアップする。 (6)各実習での講義ならびに演算サーバの利用者に対する支援を行う。</p>	0.25	<p>(1)WebClassの講習を行う。法文学部国際言語専攻修士課程の学生に大学院の講義一コマを使ってWebClassの講義を行う。先生方からの質問に対応する。 (2)留学生向けオリエンテーションを4月と10月に行う。 (3)業者対応を行う。 (4)図書館のリテラシーガイドブックをブラッシュアップする。 (5),(6)今年進捗なし。 (7)ISMSの監査責任者として8月11日に内部監査員の研修を受け、資格を取得し、9月29日に内部監査を行い、1月30日に内部監査責任者としてBSIによる一次審査で内部監査の説明を行う。 (8)入学式で学生に配布する情報セキュリティに関するチラシの検討を行う。</p>	
進路指導	0.05	卒研生の就職指導を行う。	0.05	適切な就職指導を行い、進学希望1名を除く3名全員を就職させる。	
	0.00		0.00		
計	1.00	<p>・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p>	1.00	<p>・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		